

科目分類	専門分野Ⅱ	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	成人看護援助論Ⅴ (緩和ケアを必要とする人 の看護)	学 期	前期	澄川 久美子 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	緩和ケアは病気の時期にかかわらず苦痛を全人的苦痛(トータルペイン)としてとらえ、病気に伴う苦痛を緩和するものである。人間を身体と心に分断せず総体として取り扱うことが前提である。終末期という特定の時期だけに適用されるものではなく、診断の時期から適用される看護を学ぶ。			
目 標	1. 緩和ケアの現状と倫理的課題について理解する。 2. 終末期における患者や家族の立場を理解し、QOL を高め、その人らしい最期を迎えるための援助について理解する。 3. 自分自身の死生観について考察する。 4. 終末期患者の看護過程の展開を行う。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	緩和ケアとは	DVD鑑賞「希望は必ず見つかる」 がん看護専門看護師 田井恵子の仕事	講義
	2	緩和ケア概論	歴史、定義、考え方	講義
	3	チーム医療	1) チーム医療の必要性 2) チームの型と特徴 3) チームの範囲と各メンバーの役割	講義
		緩和ケアにおける倫理的課題	1) SOLとQOL 2) 最大の益をめざすということ 3) 自己決定の自由の実現	
	4	緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援	1) 患者が納得して医療を受けるためのコミュニケーション 2) 意思決定を共有するためのコミュニケーションスキル	講義
	5	緩和ケアの対象者の広がり	1) 悲がん性疾患の患者の緩和ケア 2) 小児の緩和ケア 3) 高齢者の緩和ケア	講義
	6	緩和ケアにおける看護介入	1) 看護介入とは何か 2) 緩和ケアに用いられる看護介入 3) 医療の効果を高める看護介入 4) 患者の潜在的な力を高める看護介入	講義
	7	身体的ケア(症状マネジメント)	主要な身体症状のマネジメントとケア	講義
	8		①痛み 痛みに対する薬物療法	
	9		②がん関連倦怠感	
	10		③がん食欲不振・悪液質	
			④消化器症状、呼吸困難	
	11	精神的ケア	死生観の記述	
	12	スピリチュアルケア	主要な精神症状のマネジメントとケア	講義
13		1) スピリチュアリティとは何か 2) スピリチュアルペインの把握 3) スピリチュアルケアの実践		
14	家族ケア	1) 家族ケア 2) 遺族ケア	講義	
15	看護過程の展開	事例の看護過程の展開	演習	

<b>教科書</b>	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院
<b>参考文献</b>	授業において、その都度紹介する。
<b>評価方法</b>	定期試験、グループワークの内容(態度)、提出物の内容・提出状況により総合的に評価する。 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。
<b>関連科目</b>	基礎分野：哲学、心理学、社会学、教育学、カウンセリング理論と技法 専門基礎分野：解剖生理学、栄養学、病理学、薬理学 専門分野：基礎看護学、在宅看護論、老年看護学、精神看護学
<b>自己学習に関する指針</b>	解剖生理学・病理学・成人看護学概論、成人看護援助論で学んだ知識を踏まえて授業を展開する。
<b>その他の通知事項</b>	随時質問に応じる。